

タイムエイド **ポケット**

小山智史(弘前大学教育学部 附属教育実践総合センター)
梅村博之(青森県立七戸養護学校)

○ 概要

自閉症児の時間管理に用いるツールを製作しました。

弘前大学教育学部附属特別支援学校では、これまで、自閉症の子どもたちが見通しを持った活動ができるよう、市販のタイマーを使って支援をしてきました。しかし、子どもの実態に応じて細かい時間の設定が難しいことから、利用できる活動場面が限られていました。

そこで、当時同校教員であった白石・梅村(いずれも現在は県立学校教員)が

- タイマーの時間を細かく設定できる
- 設定した時間について、その経過(残りの時間)を「量として」把握できる
- 小型軽量化し、さまざまな活動場面で利用できる

などの特徴をもつタイムエイドが必要と考え、梅村・小山が設計・製作しました。



主な仕様

設定時間	10～90秒、1～99分
表示	残り時間のバーグラフ表示および分または秒の表示 (残り1分を切ると秒の表示)
アラーム音	0分00秒でアラーム
プロテクト機能	通常のボタン操作で停止できないようにする機能
電源	3V(単四 2本) 15mA
大きさ	58×95×18mm

○ 使い方

[電源を入れる]

[スタート・ストップ]ボタンを押すと「00」が表示されます
1秒間の長押し操作で電源を入れると動作中にバーグラフ先端が点滅します



[時間を設定する]

[10分][1分][10秒]のボタンを押して時間を設定します
[10秒]ボタンで10秒～90秒、[1分]および[10分]ボタンで1分～99分の設定ができます



[タイマースタート]

[スタート・ストップ]ボタンを押すと、カウントダウンが始まります。
動作中に押すと停止し、更にもう一度押すと再開します。
通常の操作で停止できないようにすることもできます。スタート時にボタンを3秒間長押しすると「ピッ」と音がし、プロテクトモードでスタートします。停止させる場合は、ボタンを3秒間長押しします。
プロテクトモードの操作の様子は利用者に見せない方が良いでしょう。



時間の経過はバーグラフに表示され、最後に「ピピピピッ」とアラームが鳴ります。アラーム音は8回鳴るか、または[スタート・ストップ]ボタンの操作で停止します。



[電源は自動的に切れます]

○ 利用例

